

# 略マップ

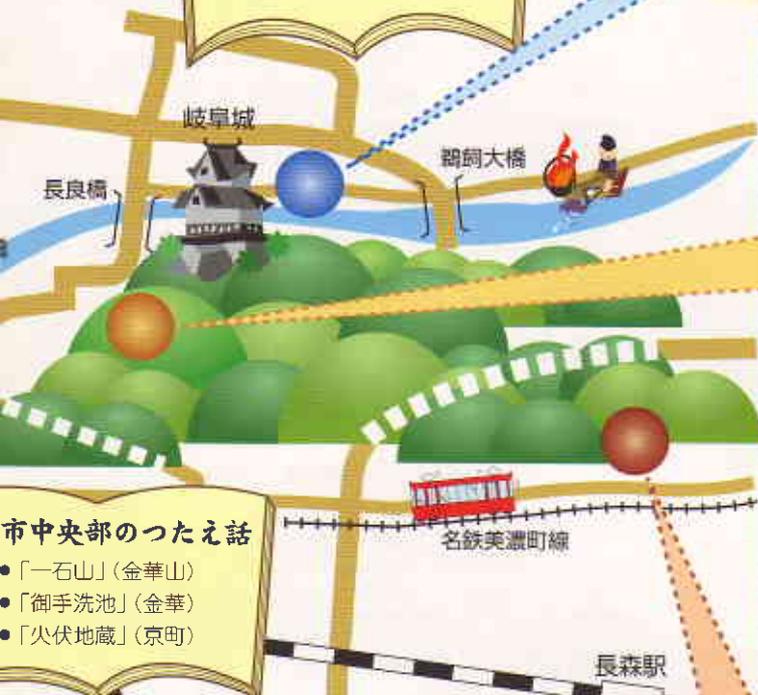
ますか。  
みましょう！

## Vol.1



### 岐阜市北東部のつたえ話

- 「九宮やぶ」(長良)
- 「流れてきた仏様」(三輪)
- 「道三塚の火の玉」(鷺山)
- 「西光寺の雨乞い」(藍川)
- 「瘡神様と小野小町」(藍川)



### 市中央部のつたえ話

- 「一石山」(金華山)
- 「御手洗池」(金華)
- 「火伏地蔵」(京町)

### 岐阜市南東部のつたえ話

- 「琴塚の椀負し」(長森)
- 「毘沙門さまと仁王さま」(岩)
- 「中将姫誓願桜」(芥見)
- 「日野のほうせんば」(日野)

ここに載せたお話のいくつかは、この本に載っています。公共図書館や学校の図書館にこの本があります。一度読んで見てはどうですか…。



## おくわ様(長良)



雄総の桜堤

### つたえ話のあらすじ

200年ほど前の長良川は、岸の村々の人にとって、飲み水や魚をめぐんでくれたり、田に水を流してくれたりするだけの川ではなく、梅雨や大水の時には、多くの村人の命をおびやかすとてもこわい川でした。

「行者様。ここの堤は、なおいてもなおいても、毎年のように切れますんや。川の神様のたたりじゃないじゃろか」

「うむ、そうかもしれん。そうじゃ、堤をなおす時、人柱をたてなされ。人柱には、村で一番美しいむすめをたてるのがよからう」

村の世話役が集まって、三日三晩相談し続け、堀田村の百姓直吉のむすめ、「くわ」に…。

最近、舞台化(劇として上演)されたので、知っている人も多いですね。

## えぼしいわ 烏帽子岩(金華)



烏帽子岩は、今も「伊奈波神社旧跡」と書かれた立て札の前に、どっかりすわっています。

★岐阜公園のロープウェー乗り場から5分ほど登っていくと、伊奈波神社の旧跡があります。(斎藤道三の時代まで、ここに神社が祭ってありました。) この神社の跡地に烏帽子(昔の人がかぶった帽子。今は神主さんがかぶっています)の形をした岩があるんだよ。

### つたえ話のあらすじ

昔、長良川の川底に、伊奈波さまの烏帽子が沈んでいるという男がおり、神様の岩をそのままにしておくのはもったいないと、みんなで引き上げました。すると、岩が沈んでいるとふれ歩いた男は、その時からたいへんしっかり者の働き手になったそうよ。またこの辺りいったいも豊かで住みよい村になっていったんやと…。

## べんけいのしりもち(長森)



### つたえ話のあらすじ

どえらい昔に、「べんけい」ちゅう名の力じまんの大男がおってのう。野一色山と前一色山の、どっちが重いかくらべたんやと。

あんまり重かったもんで、しりからずでーん。

「わーい、べんけいのしりもち池だ」みんなは大わらしたんやと。

白山神社から30分ほどで山頂に着くよ



野一色山の山頂から見た前一色山

